

暴力団排除活動の功績実る

7月3日、秋田市文化会館で開催された第19回暴力団壊滅秋田県民大会において、仙北地区暴力追放推進委員会(委員長 武藤松雄)が、秋田県功労表彰を受章しました。

同委員会は、毎年、角館町で開催される「桜まつり」「角館のお祭り」の会場で、暴力団排除の幟旗を掲揚し、暴力団排除の標語入りティッシュなどを配布しながら、会場を訪れた観光客や市民に広く暴力団排除の必要性を積極的に呼びかけ、観光地にふさわしいクリーンなイメージを与えたことが高く評価され、この度の受章となりました。



仙北地域経済団体に対し高卒採用枠拡大要請

大仙市、仙北市、美郷町、仙北地域振興局、ハローワーク大曲・角館でつくる仙北地域雇用促進連絡会議は、仙北地域高等学校代表とともに去る6月26日、大曲商工会議所において、仙北地域経済団体(大曲商工会議所及び大仙市・仙北市・美郷町の各商工会)に来春の仙北地域における高校卒業予定者の採用枠の拡大と求人票の早期提出を求める要請書を提出しました。

ハローワーク大曲管内の5月の有効求人倍率は0.19倍(ハローワーク角館管内0.17倍、秋田県全体は0.28倍)と、平成に入り最低の求人状況で、昨年より求人倍率の下降が続いています。

来春の仙北管内高校卒業予定者のうち、250名近い生徒が県内への就職を希望しているところですが、6月25日現在のハローワークへの求人票の受付が前年比の76%減(秋田県全体は57%減)と出足が鈍いため、新規学卒者の職場の確保が心配されています。今後、ハローワーク(秋田労働局)では企業を訪問するなどして求人票の提出を呼びかけていく予定です。



豊かな人権感覚身につける 「人権の花運動」

「人権の花」運動は、子どもたちがお互いに協力しながら花を育てることによって、子どもたちの情操を豊かにし、命の大切さや相手への思いやりといった人権尊重の精神を身につけてもらうことを目的として、全国で実施されている活動です。

仙北市では市内7小学校で実施。サルビアやペゴニアの苗を花壇やプランターに植え付けました。今後児童たちは、花への手入れを通し、命の大切さや思いやりの心をはぐくみ、人権意識を高めていきます。



ホタルと星と、時々、カエル

西木町の八津地区にはホタルが飛び交う場所があります。この場所に立つ杉の木が、まるでクリスマスツリーのように、ホタルの光で輝くときもあります。このホタルをみんなに見て欲しくて、同地区では、7月の週末を中心に観賞会を開催しました。

観賞会には、150人程の方々がお越しくださいました。秋田市や大館市、宮城県や新潟県からおいでくださった方々もありました。

人間の営みが発する光や音が全く無いこの場所では、ホタルの輝き、満天の星、カエルの鳴き声、これら全てが芸術です。

この場所の自然が豊かである限り、来年も再来年もたくさんのホタルが楽しめます。

